

実験医学 増刊

2018年
Vol.36 No.7

広告掲載
のご案内

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、実験医学増刊『骨格筋の恒常性と代謝・全身性制御の最前線』(仮題)を右記内容にて発行いたします。つきましては、貴社の優秀な機器・試薬・書籍等の広告をぜひご掲載いただきたく、お願い申し上げます。ご出稿の特典として、羊土社ホームページに広告掲載会社のリストが掲載され、御社のホームページとリンクされますので、ぜひご覧ください。

敬具

広告掲載料金

掲載面	刷色	スペース	掲載料金
表紙4	4色	1P	300,000
表紙3	4色	1P	200,000
	1色	1P	150,000
表紙2	4色	1P	250,000
	1色	1P	170,000
中付※ (記事中)	4色	1P	150,000
	1色	1P	110,000
後付	4色	1P	150,000
	4色(ブリード)	1P	165,000
	1色	1P	90,000
	1色	1/2P	55,000
差込		1枚	200,000

- 写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます。
- 価格には、消費税は含まれておりません。
- ご掲載の頁をご指定される場合は、一割増の料金を申し受けます。

※ご掲載の頁をご指定される場合、各箇所につき1頁まで(先着1社)とさせていただきます。

発行概要

- 発行部数 : 8,000部
- 発行日 : 2018年4月20日(金) 予定
- 広告申込概要 B5判オフセット印刷
 申込締切日……2018年3月6日(火)
 原稿締切日……2018年3月13日(火)
※日程は変更になる場合がございます
 ※広告の掲載内容を確認させていただく場合がございます

【モノクロ広告】データ※

1頁 ……天地 220 mm × 左右 150 mm
1/2頁 ……天地 105 mm × 左右 150 mm

【カラー広告】データ※

1頁 ……天地 220 mm × 左右 150 mm
ブリード版 ……天地 257 mm × 左右 182 mm
表紙4 ……天地 192 mm × 左右 150 mm
表紙4ブリード ……天地 202 mm × 左右 160 mm

※入稿形式(データの場合): Adobe Illustrator
使用したOSとソフトのバージョンをご明記下さい。
データは必ずアウトライン化して下さい

【発行元】株式会社 羊土社

〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 2-5-1
TEL 03-5282-1211 FAX 03-5282-1212
URL <http://www.yodosha.co.jp/>

【広告総代理店】株式会社 エー・イー企画

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4
一ツ橋別館4F
TEL 03-3230-2744 FAX 03-3230-2479
E-mail: adinfo@aeplan.co.jp

広告掲載申込書

年 月 日

下記の通り、実験医学増刊『骨格筋の恒常性と代謝・全身性制御の最前線』(仮題)に広告掲載致します。

貴社名: _____ TEL: _____ FAX: _____

所在地: 〒 _____

担当者名: _____ 所属 _____ E-mail: _____

掲載場所: _____ 頁/枚 _____ 掲載料金: _____

支払方法: _____ 支払日: _____

骨格筋の恒常性と代謝・全身性制御の最前線 (仮題)

編集: 武田伸一 (国立精神・神経医療研究センター)

関連技術・キーワード

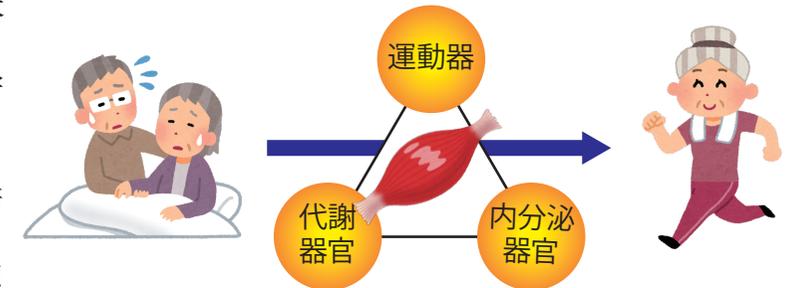
- ◆超高齢社会 ◆サルコペニア ◆フレイル ◆ロコモティブシンドローム ◆臓器連関
- ◆筋ジストロフィー ◆エキソスキップ療法 ◆マイオカイン ◆サテライト細胞 ◆再生
- ◆糖代謝 ◆インスリンシグナル ◆イメージング ◆細胞培養 ◆シグナル伝達 …等

本特集号の概要と企画背景

日本は2007年より超高齢社会に突入しています。健康上の問題がなく暮らせる健康寿命と平均寿命のギャップが男女ともに10年程度あることに由来する、医療や介護に要する労力や費用負担の増大が問題になっています。とくに加齢に応じて筋肉量が減少するサルコペニアなどの筋骨格系の疾患が健康寿命を損ねている主な原因であり、筋肉量や筋肉の機能を維持させる治療法は社会的に強く求められています。

この社会的背景も踏まえ、骨格筋が果たす運動器・代謝器官・内分泌器官としての役割に関する最新知見の整理や、骨格筋が関与する疾患の治療に向けた課題の把握にお役立ていただける書籍を企画いたしました。本書では、筋萎縮・肥大などの基礎メカニズムから、代謝、栄養、臓器連関、筋再生まで、集学的に進む本研究分野の意義や魅力を余すことなく伝えてまいります。

分野横断的な取り組みが盛んな研究テーマを扱った本書を広く展開して参りますので、ご協賛のほどお願い申し上げます。



骨格筋が全身性に果たす機能を理解し、今後の治療につなげる

本書の
注目ポイント

- 1 老化・生活習慣病**をはじめとして広範な疾患に関わるテーマを扱っており、**分野を問わず多くの読者が期待されます**
- 骨格筋に関する基礎的知見から、今後の治療戦略まで最先端知見を集めました。**アカデミアの読者層から製薬企業・臨床医にまで幅広くアピール**します
- 日本内分泌学会** (4/26~28、宮崎)、**日本整形外科学会** (5/24~27、神戸) などの春の学会において新刊として販売いたします



さまざまな分野の研究者に御社の優れた製品をアピールするチャンスとして、ぜひご活用ください!

骨格筋の恒常性と代謝・全身性制御の最前線 (仮題)

編集：武田伸一 (国立精神・神経医療研究センター)

はじめに 武田伸一 (国立精神・神経医療研究センター)

序章 超高齢社会に向けて：骨格筋と老化研究最前線

Overview	田中 栄 (東京大学医学部整形外科学教室)
1) ロコモティブシンドロームとサルコペニア：コホート研究から	吉村典子 (東京大学22世紀医療センター)
2) フレイルとサルコペニア	小川純人 (東京大学医学部附属病院老年病科)
3) 筋骨格系の老化	萩野 浩 (鳥取大学医学部保健学科)
4) 慢性腎不全患者におけるサルコペニアの病態と対策	内田信一 (東京医科歯科大学大学院腎臓内科学)
5) 骨格筋老化の分子メカニズム	上住聡芳 (東京都健康長寿医療センター研究所)
6) ミトコンドリアからみた骨格筋の老化	井上 聡 (東京都健康長寿医療センター研究所)

第1章 骨格筋の発生と再生

Overview	深田宗一郎 (大阪大学大学院薬学研究科細胞生理学分野)
1) 筋再生と進化	千葉親文 (筑波大学生命環境系)
2) 筋発生と筋再生	佐藤貴彦 (京都府立医科大学視覚機能再生外科学)
3) 筋幹細胞研究の最前線	深田宗一郎 (大阪大学大学院薬学研究科細胞生理学分野)
4) クロマチンからみた筋再生	大川恭行 (九州大学生体防御医学研究所)

第2章 骨格筋量・質の調節機構

Overview	武田伸一 (国立精神・神経医療研究センター)
1) 筋肥大・筋萎縮メカニズム	亀井康富 (京都府立大学生命環境科学研究科)
2) ホルモン・ドーピング	今井祐記 (愛媛大学プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門)
3) 骨格筋と神経支配—神経筋接合部の役割	山梨裕司 (東京大学医科学研究所腫瘍抑制分野)
4) 栄養・運動による骨格筋量・質	秋本崇之 (早稲田大学スポーツ科学学術院)

第3章 骨格筋の代謝の調節機構

Overview	小川 渉 (神戸大学大学院医学研究科内科学講座)
1) エネルギー代謝と骨格筋	清水宣明 (東京大学医科学研究所附属病院)
2) がん悪液質	布川朋也 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野)

3) 糖代謝と骨格筋	小川 渉 (神戸大学大学院医学研究科内科学講座)
4) 脂質 (代謝) と骨格筋	島野 仁 (筑波大学医学医療系内分泌代謝・糖尿病内科)

第4章 骨格筋の他 (多) 臓器連関

Overview	田中廣壽 (東京大学医科学研究所附属病院)
1) 神経・精神活動と骨格筋	Jorge Ruas (Karolinska Institute)
2) 骨格筋と脂肪	梶村真吾 (カリフォルニア大学サンフランシスコ校)
3) 骨格筋と骨	中島友紀 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)
4) 骨格筋と免疫	村上正晃 (北海道大学遺伝子病制御研究所)

第5章 骨格筋疾患研究の最前線・展望

Overview	青木吉嗣 (国立精神・神経医療研究センター)
1) 筋萎縮治療薬開発の現状	大澤 裕 (川崎医科大学神経内科学教室)
2) 遺伝性筋疾患に対する治療薬開発の最先端	青木吉嗣 (国立精神・神経医療研究センター) 野口 悟 (国立精神・神経医療研究センター)
3) 糖鎖異常の修復を目指した筋ジストロフィーの治療研究	金川 基 (神戸大学大学院医学研究科)
4) iPS細胞を用いた筋ジストロフィーの治療研究	櫻井英俊 (京都大学iPS細胞研究所)
5) ゲノム編集技術を利用した筋ジストロフィーの治療戦略	堀田秋津 (京都大学iPS細胞研究所)

第6章 骨格筋の解析技術の基本・進展

1) 骨格筋標本の作成・基本染色・電顕	埜中征哉 (国立精神・神経医療研究センター)
2) 定量的な骨格筋の解析技術 (筋径, ファイバータイプ, NMJ, 再生実験, その他組織学)	野口 悟 (国立精神・神経医療研究センター) 上住 円 (東京都健康長寿医療センター研究所)
3) 骨格筋の機能解析 (Grip, Treadmill, Tail suspension, 自発運動, 筋張力)	谷端 淳 (東京慈恵会医科大学) 野口 悟 (国立精神・神経医療研究センター)
4) 誘導型Cre発現マウスの利用と選択方法	細山 徹 (国立長寿医療研究センター再生再建医学研究部) 深田宗一郎 (大阪大学大学院薬学研究科細胞生理学分野)
5) 骨格筋幹細胞実験 (FACS, Single myofiber)	林晋一郎 (国立精神・神経医療研究センター) 小野悠介 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

続刊予定

2018年6月発行予定

脂質が支えるバイオロジー (仮題)

編集／有田 誠 (理化学研究所統合生命医科学研究センター, 慶應義塾大学薬学部)